

一緒に
考えませんか？

低炭素社会づくりを目指し、2020年までの温室効果ガス削減目標は、05年比15%削減(90年比8%減)と決まりました。中期目標実現のためには、家庭にも具体的な取り組みを促すとともに、一世帯あたり年間7.6万円の国民負担についても触れています。

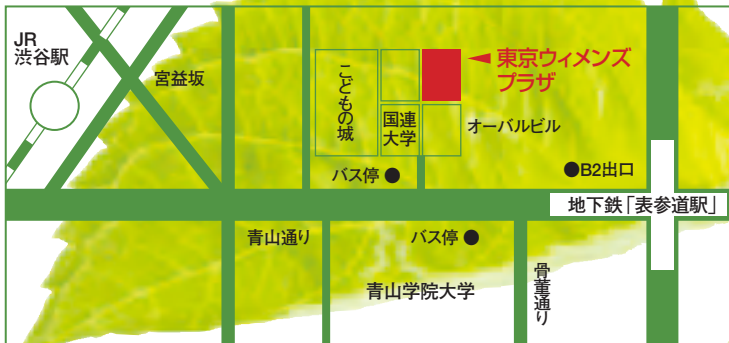
私たちはこの中期目標をどのように受け止めたらいいのでしょうか。そして、私たちの暮らしはどうなるのか、どう影響するのか、次世代のために生活に欠かせないエネルギーはどのようにしたらよいかなど、参加される来場者のアンケートを通して、一緒に考える機会を持つこととしました。

私たちの暮らしとエネルギー

～ 幸せ最大、エネルギー最小の社会とは～

■ 開催日時：平成21年9月26日(土) 13:30～15:40(開場13:00)

■ 開催場所：東京ウィメンズプラザ(ホール)



〒150-0001
東京都渋谷区神宮前5-53-67

入場無料
定員150名
(先着順)

【交通】

- JR山手線・東急東横線・京王井の頭線:渋谷駅下車徒歩12分
- 地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線:表参道駅下車徒歩7分
- 都バス(渋88系統):渋谷駅からバス4分 青山学院前バス停下車徒歩2分

■ アンケート：参加申込みの際、4問のアンケートにご協力をお願いいたします。
アンケート結果を紹介しながら、シンポジウムを進行します。(アンケートは裏面)

■ 登壇者：

パネリスト



木元 教子(きもとのりこ)氏 / 評論家・ジャーナリスト

TBSのアナウンサーを経てフリーとなり、現在はエネルギー・環境、教育、女性、高齢化、農業問題など幅広い分野で放送番組等への出演、講演、執筆等を行っている。1998年～2006年末までの9年間、内閣府原子力委員会委員を務める。現在も経済産業省をはじめ多くの審議会委員等の公職を務める。絵本「100年後の地球」、共著「私たちは、なぜ放射線の話をするのか」、「六ヶ所が目指すこと」など著書多数。



枝廣 淳子(えだひろじゅんこ)氏 / 環境ジャーナリスト・翻訳家

東京大学大学院教育心理学専攻修士課程修了。2つの会社を経営する傍ら執筆、講演、翻訳、環境NGO運営、首相の「地球温暖化問題に関する懇談会」委員など、環境を軸に多様な活動を展開中。企業や自治体、一般市民を対象に「温暖化」「生物多様性」「環境とビジネス」などのテーマで多くの講演を行う。その他「システム思考」「セルフマネジメント」「キャリアアップ」研修などを多数開催。主な著書に「朝2時起きで、なんでもできる!」「地球とわたしをゆるめる暮らし」、訳書に「不都合な真実」「成長の限界 人類の選択」ほか多数。

コーディネーター



秋庭 悦子(あきば えつこ)氏 / 消費生活アドバイザー・NPO法人あすかエネルギーフォーラム理事長

早稲田大学商学部卒業、1989年に消費生活アドバイザー資格を取得。エネルギー、住宅、通信関連の企業のアドバイザーを経て、2003年にNPO法人あすかエネルギーフォーラムを設立。「生活者の視点でエネルギー問題について考え、行動しよう」をキャッチフレーズに全国で活動している。また、(社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会の常任理事・広報委員長も務めている。経済産業省総合資源エネルギー調査会新エネルギー部会、原子力部会などの委員。

主催：NPO法人 あすかエネルギーフォーラム・『フォーラム・エネルギーを考える』



